

新人看護師 成長記録



- 手術室 & 新生児棟編 -

2022 年度入職の新人さん方も無事一年をすぎて 頼もしく成長しています

これから看護師を目指す皆さんへのメッセージです

今回は手術室 新生児編です それではどうぞ

手術室に配属されました。配属後は、学校で学ばなかった知識を習得することで精一杯で周りをよく見ることができなかつたです。

しかし、分かることが増えて心の余裕が生まれたことで患者に必要な看護を考えることに重きを置くことができるようになってきました。

術後に両親の安堵する様子を見たり、感謝の言葉を頂いたりしたときに「また頑張ろう」と思うことができます。手術室は他職種とのコミュニケーションが重要であり、医師に相談するときは今でも緊張します。

仕事での悩みは先輩がよく話を聞いてくださいます。同期もとても優しいのでいつも周りに助けていただきながら頑張ることができています。(手術室)

手術室に配属となり、看護実習では見たこともない環境への配属はとても不安が大きかったのを覚えています。

先輩もとても優しく、様々なことをご指導いただき、自分自身大きく成長できた1年だと感じています。特に同期の存在は大きく、何かあったらはなして相談でき、自分と同じ環境でともに成長しているので、分かり合える仲間です。

入職までの間に不安はたくさんあると思いますが、先輩や他職種の方々も優しく教えて下さるので、安心して入職を楽しみにしていきましょう。(手術室)

入職して1年が経とうとしています。実習では経験することのなかった部署で働くことは、毎日が新しいことの経験で、日々勉強と実践の積み重ねでした。

そんな中でも「患者さんのために」という思いを持って仕事に臨むことで、自分がより良い看護を実践できていくことができているのだと考えることができるようになりました。

そして、困った時にすぐに声をかけてくれる先輩方、信頼できる同期に支えられながら仕事ができる環境にとっても感謝しています。(手術室)

学生時代に学べなかった専門的な知識や技術を学ぶことができている。

コロナ禍の実習であったため患者に直接ケアをしたり反応や計画を修正したりすることを経験してこなかったが、今では実際にできて、やりがいを感じる事ができています。

優しい先輩ばかりなので、丁寧に教えていただき、もっと成長していきたいと思えます。(新生児)

今でも分からないと感じることや難しいと感じることはまだまだたくさんありますが、そんななかでも、入職当初と比べると、時間に余裕を持って業務が行えたり、少しずつ一人でできることが増えてきたり、

自分の受け持ち以外の児にも目を向けることができるようになってきているので、

そういったところから成長してきているのかなと感じます。(新生児)

